

榎原市立図書館だより

平成26年3月1日発行  
第29号

# 榎の樹

世界のこどもの本展  
JEBYがすすめる  
世界の児童書208冊  
P2~3

図書展示  
「こころのケア」  
P4~5

図書館員の本棚(15)  
P6

子ども読書活動の取組  
P7

お知らせその他  
P8



## 世界の子どもの本展

IBBYがすすめる  
世界の児童書208冊



主催 JBBY  
(日本国際児童図書評議会)  
協力 榎原市立図書館

秋の読書週間にちなみ、11月19日 から 12月1日 まで「世界の子どもの本展 2012年国際アンデルセン賞・IBBY(世界児童図書評議会)オナーリスト展」を図書館おはなし室で開催しました。

上記の期間中、「IBBY オナーリスト」の全169冊と、「国際アンデルセン賞受賞図書」の児童図書や絵本(計208冊)を展覧しました。

### 国際アンデルセン賞

1953年にIBBYが創設した世界で初めての子どもの本の国際賞です。2年に1度、子どもの本の世界に顕著な貢献をした作家と画家の全業績に対して贈られます。選考基準の高さから「小さなノーベル賞」とも呼ばれ、世界中の児童文学に携わる人々に影響を与えてきました。

日本からは、赤羽末吉(1980年)、安野光雅(1984年)、まど・みちお(1994年)が受賞しています。

### IBBY オナーリスト

国際アンデルセン賞の創設とともに、世界の優れた児童書に「優良賞」が授与されることになりました。これが現在の「IBBY オナーリスト」の全身です。当初は国際選考委員の審査を経た作品だけに授与されましたが、後に、各国支部が推薦する作品全てをリストと称するようになりました。

現在、「文学部門」「イラストレーション部門」「翻訳部門」の3部門があります。2012年は、58の国と地域から、44言語169冊が選ばれています。

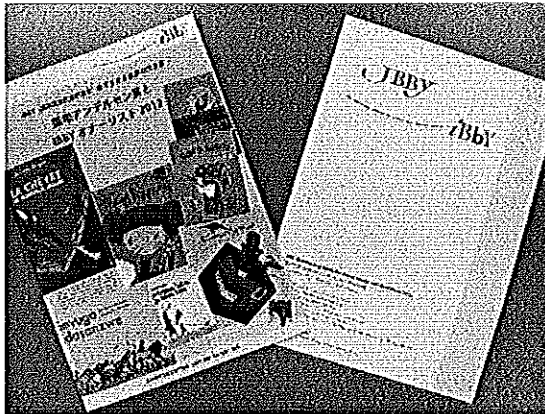
### IBBY と JBBY

IBBY(国際児童図書評議会)は、1953年、第2次大戦後のドイツで、子どもの本を通して国際理解を広めようとする人々によって創設されました。現在は70以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。「国際アンデルセン賞」「IBBY朝日国際児童図書普及賞」「IBBYオナーリスト」「IBBY障害児図書資料センター」などの事業を通じて、子どもの本の情報を発信しています。また、各国支部が協力して、支援を必要とする子どもたちに本が届くよう活動しています。

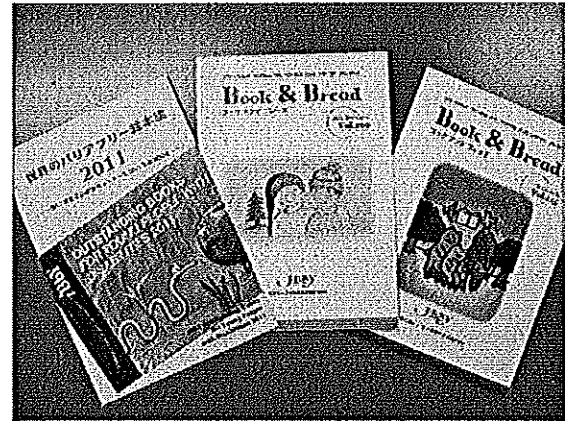
JBBY(日本国際児童図書評議会)は、IBBYの日本支部です。



(国や地域が異なる様々な図書を展示しました)



(右)(下) JBBYが作成しているブックリスト  
問い合わせなど <http://www.jbby.org>



会場で展示図書した各国絵本のブックカバー(一部抜粋)



左から、『バックン! おいしいむかしばなし』(イギリス)、『12個のイースターエッグと消したがり屋の魔女』(キプロス)、『とおい国からきたタシ』(モンゴル)、『われらドロボー一家』(フィンランド)、『たいせつなひとり』(エジプト)  
——展示作品より

JBBY

- 主催：一般社団法人日本国際児童図書評議会 (JBBY)
- 協力：奈良県橿原市立図書館
- 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成活動

## 図書展示

## こころのケア



手がかりのための100冊

自殺予防に対する「気づき」と「見守り」を醸成する取組として、健康増進課と図書館が連携した図書展示と貸出啓発「こころのケア」を行います。 期間 3月1日～(図書がなくなれば終了) 場所 図書館1Fブックトラック(移動展示台)

## 「こころのケア」ブックリスト (1)

「健康」「家庭」「経済」「生活」「労働」などの分野について、健康増進課に交付された自殺対策の県補助金を原資に充て、最新情報を掲載している30冊を購入しました。展示期間終了後も図書館資料として閲覧や貸出に供されます。下記は30冊からの抜粋です。

お金のために死なないで 多重債務による自死をなくす	弘中 照美	岩波書店
若者たちはなぜ自殺するのか	渋井 哲也	長崎出版
生きる わたしたちの思い 1 2	谷川俊太郎 with friends	角川コミュニケーションズ
自殺で家族を亡くして 私たち遺族の物語	全国自死遺族総合支援センター	三省堂
自殺者三万人を救え! “命” みんなで守る社会戦略	希月 昭	NHK出版
救える死 自死のない社会へ	天竺 崇	新日本出版社
「月曜日の朝がづらい」と思ったら読む本	森下 克也	中経出版
専門家に相談する前のメンタルヘルス・ファーストエイド こころの応急処置マニュアル	B. キッチナー	創元社
「職場うつ」防止のヒント 心理学の基礎から学ぶ職場のメンタルヘルス	涌井美和子	産労総合研究所
自殺のない社会へ 経済学・政治学からのエビデンスに基づくアプローチ	澤田 康幸	有斐閣
生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由がある	岡 檀	講談社
すぐ会社を休む部下に困っている人が読む本 それが新型うつ病です	緒方 俊雄	幻冬舎
9割の心の不調は自分で治せる 「最近、なんだか調子が変わる」と思ったら試してほしいこと	小林 暁子	KADOKAWA

## 「こころのケア」ブックリスト (2)

情報や事例から広く学ぶことや、他者の声に耳を傾けることで、問題解決への糸口が見つかるかもしれません。リスト(1)に加えて、様々な分野から所蔵図書70冊を選びました。下記はその抜粋です。

生きていだけで満点	夏目 祥子	ポカラ出版
生きる理由	新川 和江	花神社
いじめられている君へいま言えること、伝えたいこと	鎌田 慧	徳間書店
電池が切れるまで 子ども病院からのメッセージ	すずらんの会	角川書店
くじけないで	柴田 トヨ	飛鳥新社
医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント	高橋 祥友	医学書院
うつ病と躁病	L. ビンスワンガー	みすず書房
思い上がり ひねくれ わざとらしさ	L. ビンスワンガー	みすず書房
おかあさん 1 2 3	サトウ ハチロー	日本図書センター
大人の発達障害を的確にサポートする	星野 仁彦	日東書院本社
オートバイの旅は、いつもすこし寂しい	斉藤 純	ネコ・パブリッシング
悲しむのは、悪いことじゃない	香山 リカ	筑摩書房
関係としての自己	木村 敏	みすず書房
心の杖ことば366日 上 下	松原 泰道	海竜社
人類知抄百家言	中村 雄二郎	朝日新聞社
専門医が教えるうつに負けない57の読む薬	斉藤 茂太	幻冬舎
助けてと言えない	NHKクローズアップ現代取材班	文藝春秋
中高年の自殺を防ぐ本	高橋 祥友	法研
つらい時は「やってらんない」で叫べばいいのよ	水無 昭善	宝島社
どうぞ気楽に精神科へ	高橋 祥友	講談社
プロカウンセラーが教えるはじめての傾聴術	古宮 昇	ナツメ社
まずは子どもを抱きしめて	加藤 曜子	朝日新聞社
夕日がせなかをおしてくる	阪田 寛夫	岩崎書店
やさしい言葉 石垣りん詩集	石垣 りん	童話屋
花をうかべて(美しい日本の詩歌)	新美 南吉	岩崎書店
私を支えたこのひとこと	日本商工会議所	実業之日本社

## 図書館員の本棚(15)

池波 正太郎 著  
文春文庫「鬼平犯科帳」 その他

池波正太郎(いけなみしょうたろう)  
1923～1990

小説家 劇作家。東京生まれ  
東京都職員等を経て、昭和30年ご  
ろより作家活動に入った。  
「錯乱」(直木賞)、「鬼平犯科帳」  
(吉川英治文学賞)。その他著作多  
数。

「鬼平」こと長谷川平蔵は、架空の人物ではない。長谷川家は江戸入府以前の三河まで遡ることのできる譜代の旗本だった。平蔵は、火付盗賊改メ方(ひつけとうぞくあらためかた)への登用や石川島人足寄場の献策といった史実を基礎にして、池波正太郎が造型した主人公である。

万石の大名や、老中や奉行などの要職者を、池波は主人公に選ばなかった。官僚組織の中で、誰もが忌避する凶悪犯の専従に「加役」された四百石取りの実務者を選んだ。「加役」とは、閑職者に兼任を命じた制度だった。戦国期も遠のいた江戸中期、戦時には花形だった御先手組頭も、手持ち無沙汰に過ごさなければならなかった実情にさりげなく触れている。ちなみに、火付盗賊改メが刑事上例外的に切捨御免であるのは、戦時軍政下の必要措置から生じている。

長谷川平蔵は、陰影に富んだ魅力的な人物だ。妾腹に出生した鬱屈のためもあり、若年時には無頼の徒に交わった。めぐり合わせの果てに、家督を継いで火盗改メ方の長官となるのだが、凶暴な盗賊からも「鬼」と恐れられる峻烈さを、「悪を知る者だけが、悪をただすことができる」といった独白で描いている。こうした人物造型の妙は、池波ならではの巧みさといえるだろう。

平蔵を支える副主人公格は、表世界の与力や同心といった武士たちだけではなく、その多くは、名もなき下積みの「密偵」たちである。スパイである彼らは、かつて犯罪者だった。様々な事情から悪に手を染めてしまったのだが、「殺さず、犯さず、貧しい者からは盗まず」といった掟を墨守することで、自らの内部に「負の誇り」とおとしてきた技能的アウトサイダーたちだ。そうした彼らが、欲望のためには手段を選ばない賊徒の群れに直面した時、自らすすんで裏切り者となり、古い仲間から「お上の狗(いぬ)」と蔑まれながら、平蔵の手足となって陰の働きを重ねてゆく。悪に手を染めないでは生きられなかった者の悲しみや、はからずも悪に身を落としてしまった者の苦しみを、平蔵は凶悪犯の取り締まりに転化させてゆく。鬼畜に成り下がった頭目に幻滅する小房の桑八にも、堅気に戻って所帯を持つと願ったおまさにも、そして、昔のしがらみと平蔵への忠誠心の狭間で、自らのモラルのために自裁してしまう仁三郎にも、密偵として生きるよりすべのなかった尋常でないものが深く刻まれている……。

こうした着想を、池波はどこから得たのか……。浅草に生まれ育った池波は、兜町の株式仲買店に13歳で「奉公」に出た。「生き馬の目を抜く」といわれた修羅の業界で、池波少年は、ありとあらゆる人間のいじらしさといじましさを見聞したことだろう。だが、そうした直接的な見聞を、暴露的に書き立てることはなかった。歲月の中でじっくりと熟成させ、アクやヤニが沈下した後の上澄みで、蒸留酒のような濃い作品世界に結実させていった。様々な職業遍歴の中で、池波自身が現場の人間であり続けたことが、作品に奥行きを与えたのかもしれない。



「鬼平犯科帳」  
池波 正太郎 文藝春秋



「江戸・東京を造った人々」  
「東京人」編集室 編  
ちくま学芸文庫



## 今年度の「子ども読書活動」の取組から



### こんな本読んでんねん

権原市立の小学校のみなさんからオススメの図書を紹介してもらった「こんな本読んでんねん」が、2年目を迎えました。平成25年度は371点の応募がありました。

その中から、6点を広報かしはら1月号～3月号に掲載しました。

また、1月17日(金)から3月30日(日)まで、図書館1Fで55点のオススメコメントを図書とともに展示しています。

本紙裏表紙にも、そのうちの5点を掲載しています。

## 「平成25年度 子ども読書活動推進ポスター展」

(奈良県青少年・生涯学習課)



県内各地を巡回するポスター展が、1月22日から29日まで、かしはら万葉ホール1F多目的ロビーで行なわれました。

県内の小学校、中学校、高等学校の在校生から寄せられた応募作308点のうち、入選作20点を展示しました。



権原高等学校1年 伴 紗貴子 さんの優秀作品  
「めぐるたび 広がるセカイ」(部分)

権原市内校に在学する優秀作品入選者のみなさん(計8名)  
下田 聖也さん(権原学院高2年) 菅谷 俊裕さん(畷傍高1年) 沖田 佳織さん(権原学院高1年) 田口 也勢さん(権原中3年) 奥村 真妃さん(権原中2年) 浅田瑠菜さん(真菅北小3年) 石倉 結衣さん(真菅北小1年)

## 榎原市立図書館

〒634-0075  
榎原市小房町11-5

TEL:  
0744-29-2121

FAX:  
0744-21-1011

http:  
//www.city.kashihara.jp/  
toshokan

### 編集後記

#### 正岡子規の「悟り」

早過ぎる晩年、子規は骨結核(カリエス)におかされていた。患部の骨から膿が湿潤し、腰や背の穴からあふれ出る。疼痛の激しさに、うつ伏せになることもできずに仰臥を強いられる死の病だった。天井から吊るされた力紐にしがみつき、手当てに耐えた。モルヒネを使用した、それでも消せない激しい痛みに、三十男が子どものように泣き叫んだという。▼そうした病苦の中で、写生を駆使した俳句表現の革新に取り組んだ。六尺畳の病床から、彼はあらゆるものを見つめ続けた。病床から庭の草木を見つめることは、自己を客体化する作業でもあった。見ることの素晴らしさと、世界の美しさを知っていた子規は、病苦の絶望に飲み込まれることがなかった。▼『悟り』という事は如何なる場合でも平気で死ぬる事かと思つて居たのは間違ひで、悟りという事は如何なる場合にも平気で生きて居る事であった』(病床六尺)。鼓動が命の時を刻むように、日々の食事を刻みに写生してゆく。『又ク飯三碗、佃煮、ナラ漬……』(仰臥漫録)。粥のように、やわらかく炊き上げた飯。舌を焼くような熱々ではなく、病人向けにほどよくさましたあたたかさ……。臨終間近の日まで、対象を言葉に写し取っていった。▼本を読んだからといって、問題が直ちに解決するわけではないが、先人や知見者から学ぶことで、様々な呪縛から抜け出すヒントは得られるのではない。

(編者)

## こんな本読んでんねん 市内小学生のみなさんからのオススメ本

### 「いじめっこ いじめられっこ」

鈴木喜代春 著 あすなろ書房 畝傍南小4年 植西 彩貴 さん  
ケイ子が急にいじめられるようになった。くつをかくされたり、「くさい」と言われたりするけど、何をいわれてもケイ子は泣きません。この本のよかったところは、いじめてはいけないと思えたところです。みんなも、この本を読んで、いじめのことをよく分かってほしいです。

**なるほど!** 様々な問題について「分かる」ことが大切です。その手助けのひとつが「本」かもしれません。相手の立場や気持ちを「分かろう」とする態度、素晴らしい!

### 「IQ 探偵ムー 帰ってくる人形」

深沢 美潮 著 ジャイブ 耳成南小5年 水谷 歌音 さん  
笑美ちゃんの人形が、捨てても捨てても、二度、三度と家に帰ってきて、笑美ちゃんのベッドにねています。このなぞをとくために、茜崎夢羽が活躍します。このげんしようは、霊のしわざか、それともなにかあるのか。とてもわくわくする本です。

**なるほど!** こんなオススメ文を読んでしまうと、先が気になって本を手にとらずにはいられません。捨てるたびに、戻ってきてベッドにもぐりこんでいるとは! 不気味ですね。

### 「めぐろのさんま」

川端 誠 著 クレヨンハウス 晩成小5年 躰井 祐人 君  
ぼくは落語が好きなのでこの本をオススメします。江戸の目黒でお殿様があるいていて、農家からさんまのおいがしました。さんまは「下魚」なので、お殿様の口にするものではなかったのですが……。

**なるほど!** 落語が好きとは、シブイ! 文芸の一種の落語には、ふだんはあまり使われない「下魚」などの言葉も……。本の中だからこそ、出会える言葉がありますね。

### 「ぼく、となりのわんこ」

佐々木まこと 著 オークラ出版 真菅北小5年 大枝 里奈 さん  
「待て」って言ったの……。わんこは飼い主を待っている……。「あそぼ! あそぼ!」ってしっぽをふっている。かわいい犬たちが、本のむこうから、声をかけてきます。「本をとじたらむかえにきてね」そんなつぶやきには、「もちろんだよ!」

**なるほど!** オススメ文自体が作品世界のような、詩でも読んだような、深い読後感を味わいました。受けとめ方を強いられない自由さも、読書の魅力ではないでしょうか。

### 「探偵ガリレオ」

東野 圭吾 著 文藝春秋 晩成小4年 西岡 健太 君  
この本を選んだのは、ドラマを見て興味をもったから。一番おもしろいのは、湯川教授が、むずかしい事件を解決してかっこいいのに、子どもが近づくと「じんましん」ができることです。

**なるほど!** 今はおとなで「かっこいい」湯川教授にも、子どもの頃があったはず。作者がしかけた巧みなユーモアが分かるとは、読書の達人!

### ◆◆◆その他多数から支持された人気の図書

「かいけつゾロリ」シリーズ、「マジックハウスツリー」シリーズ、「いじめ」関連の図書、「魔女」シリーズ、「ひみつ」シリーズ、「空想科学読本」、「富士山」関連の図書、「ズッコケ」シリーズ

### 表紙について

1月下旬「平成25年度子ども読書活動推進ポスター展」がかしはら万葉ホール1F多目的ロビーで開催されました。展示作品のひとつ、榎原中学校2年生 奥村真妃さんの優秀作品「本の世界へ旅しよう」(部分)。